

資料32 名水一覽

(1) 名水百選 (昭和60年3月環境庁選定)

名称	水の形態	所在地	交通	概要
あめまなひ 天の真名井	湧水 (湧水量 2,500 m ³ /日)	西伯郡淀江町高井谷	山陰線淀江駅からバスで10分さらに徒歩3分	「アメノマナイ」とは、清浄な水に付けられる最大級の敬称であり幅15m、奥行5mほどの清水の湧く美しい池を源とした水域は、地域の人々に利用され、大切に管理されている。

(2) 因伯の名水 (昭和60年6月県選定及び平成2年12月県追加選定)

区分(注)	名称	所在地(交通)	水の形態	概要
暮らしの中の泉	ようろのしみず 用呂の清水	八頭郡八東町用呂 (若桜鉄道丹比駅からバスで10分さらに徒歩5分)	湧水 (3,000 m ³ /日)	清澄な湧水で今でも、地区住民の生活用水として大切に保全、活用されており、また、重要なかんがい用水の一つでもある。
	ふせのしみず 布勢の清水	気高郡気高町殿 (山陰線浜村駅からバスで15分)	湧水 (1,000 m ³ /日)	「布勢平神社」の境内の岩の下から清冷な湧水が湧き出しており、今も地域の生活用水として活用されている。
	うのじぞつ 宇野地蔵「ダキ」	東伯郡羽合町宇野 (山陰線倉吉駅からバスで25分)	湧水 (70 m ³ /日)	経文の彫られた巨岩と地蔵三体を祭る法華堂があり、その中にある「ダキ」と通称される湧水で地蔵盆行事などで親しまれている。
	じぞうだきいづみ 地蔵滝の泉	西伯郡岸本町丸山 (伯備線岸本駅からバスで15分さらに徒歩2km)	湧水 (30,000 m ³ /日)	数箇所から湧水が湧き出しており滝地蔵が祭られている。水道水源、かんがい用水に利用され、セリ、クレソンの栽培を行なっている。
	ほんぐうのいづみ 本宮の泉	西伯郡淀江町本宮 (山陰線米子駅からバスで20分さらに徒歩10分)	湧水 (15,000 m ³ /日)	水源一帯はめずらしい亜熱帯性のクリハラン等が群生しており、豊富な湧水は、生活用水、ニジマス、アマゴの養殖に利用されている。
ふれあいの水	たおがけいせ池 多鯉が池	鳥取市覚寺 岩美郡福部村湯山 (山陰線鳥取駅からバスで20分)	湖沼	鳥取砂丘に近く、ボート遊び、魚釣りなど観光客をはじめ、多くの人々に憩いの場として親しまれている伝説の池。
	せんだいがわ川 千代川 (用瀬町水域)	八頭郡用瀬町 (因美線用瀬駅から徒歩で5分)	河川	千代川の清流が岸辺を洗うこの水域は江戸時代から続いている流しびなの里として、町民の心の清流であり、釣人、ドライバーの憩いの場となっている。
	さんおうだきいせき 山王滝水域	八頭郡佐治村中 (山陰線鳥取駅からバスで60分さらに徒歩5分)	河川	山王滝を中心とした自然性豊かな美しい水辺には、キャンプ場、遊歩道などが整備され、特に夏、秋は多くの人々が訪れている。
	おおいせんいせ池 大神山池	東伯郡関金町泰久寺 (山陰線倉吉駅からバスで40分さらに徒歩10分)	湖沼	静かな湖面に表大山と蒜山三山がうつる美しい景観は四季を通じ人々に親しまれ、特に夏はボート、カヌーを楽しむ人でにぎわう。

辺	おおのいせ池 大野池	西伯郡大山町飯戸 (山陰線大山口駅からバスで20分さらに徒歩10分)	湖沼	湖岸は水際から広がりを見せ野原となって松林に連なり、山腹にいだかれた美しい湧水の池で四季を通じ訪れる人々が多い。
	うのいせ池 鶺鴒の池	日野郡日野町下黒坂 (伯備線黒坂駅から4.2km)	湖沼	標高400mの山頂にある周囲4kmの美しい池で、公認のオリエンテーリングコースをはじめ、春の鶺鴒の池マラソンなど人々のふれあいの場となっている。又、周辺は野鳥の天国である。
歴史の水	こりとりがわ川 垢離とり取川	東伯郡三朝町三徳山 (山陰線倉吉駅からバスで30分)	河川	霊場三徳山の雨水を集めて流れる清流。昔、参拝者がこの水で身を清めて入山したと伝えられる「身清めの滝」がある。
	てんのすい 天皇の水	東伯郡赤碕町高岡 (山陰線赤碕駅からバスで15分)	湧水 (500 m ³ /日)	後醍醐天皇が隠岐島から京都に還御の途中、天皇の指された岩を起したところ、泉が湧き出したと伝えられる。今も地域の生活用水として使用されている。
	あまつしのいせ池 赤松の池	西伯郡大山町池ノ原 (山陰線大山口駅からバスで16分さらに徒歩20分)	湖沼	古くから雨ごいや、幸福を成就する女蛇神が住むと広く言い伝えられた伝説の池。
ふるさとの溪流	あめだきいせ谷 雨滝の谷	岩美郡国府町雨滝 (山陰線鳥取駅からバスで45分さらに徒歩2km)	河川	(雨滝川…雨滝を中心として上、下流300m及び仏谷川上流300m程度) 水量豊富な滝を有する渓谷は景観がすばらしく、自然性に富み、キャンプ、避暑地、紅葉など訪れる人が多い。
	みだきいせ谷 三滝の谷	八頭郡河原町北村 (山陰線鳥取駅からバスで20分さらに徒歩30分)	河川	(曳田川…千丈滝から下流3km程度の間) 変化に富んだ滝の数々、絶壁と奇岩の間を流れる美しい溪流は、四季を通じて人々に親しまれている。
	もろがけいせ谷 諸鹿の谷	八頭郡若桜町諸鹿 (若桜鉄道若桜駅からバスで20分)	河川	(来見野川…諸鹿部落から上流5km程度) 溶岩流で出来た岩や諸鹿七滝と称される滝々の奇観が続き、一帯にブナ、トチの自然林が広がる景観がすばらしい。
	あしずいせ谷 芦津の谷	八頭郡智頭町芦津 (因美線智頭駅からバスで20分さらに徒歩30分)	河川	(北肢川…三滝を中心として上、下流4km程度) 芦津自然保護林の中を流れる水量豊富な溪流で、新緑から紅葉まで、キャンプ、釣りなど訪れる人が多い。
	ふどうだにがわ 不動谷川流域	気高郡青谷町田原谷 (山陰線青谷駅からバスで10分)	河川	(不動谷川…不動山入り口から妙円滝の間1km程度) 趣きを異にした三つの美しい滝を有する自然性豊かな溪流であり、新緑から紅葉までキャンプ、ハイキングに訪れる人が多い。
	おしかいせ谷 小鹿の谷	東伯郡三朝町中津～神倉 (山陰線倉吉駅からバスで50分さらに徒歩30分)	河川	(小鹿川…中津ダムから神倉の間3km程度) 昭和12年、文部省の「名勝地」に指定。深い緑色の水流に美しい景観が映え、心のやすらぎを覚える。
せつかいせ谷 石霞の谷	日野郡日南町生山 (伯備線生山駅から徒歩で15分)	河川	(石見川…生山から上流3km程度) 奇岩、怪岩の名所として古くから知られ、特に春のつつじ、秋のもみじの景観のすばらしい溪流である。	

(注) 暮らしの中の泉…昔から地域の人々の日常生活に深くかかわりを持ってきた湧水等で住民の保全管理によって大切にされ現在に引きつがれているもの。
 ふれあいの水…きれいな水や水辺を保つために努力されており、人々が水とふれ合い水に親しむことによって心に安らぎを与える憩いの場としての水環境。
 歴史の水…本県の歴史や伝説にふさわしい故事来歴を有するもの。
 ふるさとの溪流…溪流の中でも特に自然美豊かで、後世に残しておきたい水域で併せて観光などの親水性のあるもの。

資料33 鳥取市内各水準点沈下量の経年変化

〈単位 cm〉

水準点番号	029 119	009 209	(1)	029 118	1067	(3)	1068	(2)	(4)	029 116	1121	1066	(5)	053 133	廻	029 117	(7)	(8)	009 210	(9)	(10)	
所在地	田 三 園 丁 町 目	松 二 並 丁 町 目	寿 町	西 五 丁 町 目	本 一 丁 町 目	行 徳	新 品 治	吉 一 方 丁 温 目 泉	幸 町	吉 四 方 丁 温 目 泉	立 四 川 丁 町 目	吉 成	富 安	今 二 丁 町 目	田 四 園 丁 町 目	庖 丁 人 町	秋 里	江 津	安 長	秋 里	秋 里	
昭和50～53年度の沈下量 (S49. 6～53. 7)	15.40 (3.77)	8.04 (1.97)	8.29 (2.03)	7.21 (1.77)	6.76 (1.66)	5.39 (1.32)	3.44 (0.84)	3.35 (0.82)	1.81 (0.44)	1.41 (0.35)	1.27 (0.31)	1.24 (0.30)	1.52 (0.37)	1.20 (0.29)	[S53 設置]							
昭和54年度の沈下量 (S53. 7～54. 7)	3.66	2.37	1.64	1.29	1.00	0.78	0.49	0.67						(亡失)	8.47	[S54測 量開始]						
昭和55年度の沈下量 (S54. 7～55. 7)	3.80	1.13	1.09	1.20	0.62	0.48	0.25	0.15						[S54 再設]	5.38	0.42	[S55 設置]	[S55 設置]	[S54測 量開始]	[S55 設置]	[S55 設置]	
昭和56年度の沈下量 (S55. 7～56. 7)	2.61	1.43	1.28	1.26	0.89	0.81	0.51	0.31	[S53.7 ～56.7] 0.51 (0.17)	[S53.7 ～56.7] 0.68 (0.23)	[S53.7 ～56.7] 0.76 (0.25)	[S53.7 ～56.7] 0.71 (0.24)	[S53.7 ～56.7] 0.38 (0.13)	0.22	4.45	0.45	4.36	3.84	2.42	1.74	1.46	
昭和57年度の沈下量 (S56. 7～57. 7)	2.25	0.55	0.96	0.49	0.46	0.22	0.94	0.14	+0.04	0.22	0.03	0.05	0.01	+0.13	2.73	0.26	2.90	2.57	1.62	0.70	0.77	
昭和58年度の沈下量 (S57. 7～58. 7)	1.16	1.03	0.55	0.35	0.33	0.46	0.12	0.19	0.33	0.09	+0.13	0.29	0.22	0.16	2.28	0.16	2.56	2.37	1.36	0.68	1.18	
昭和59年度の沈下量 (S58. 7～59. 7)	1.02	0.59	0.52	0.44	0.21	0.23	0.24	0.09	0.04	+0.02	0.02	0.07	0.01	0.04	2.20	0.09	2.37	2.19	1.26	0.92	1.10	
昭和60年度の沈下量 (S59. 7～60. 7)	0.67	0.37	0.43	0.23	0.35	0.18	0.07	0.10	+0.03	0.13	0.13	+0.06	+0.05	+0.12	1.37	0.14	1.94	1.67	0.92	0.31	0.55	
昭和61年度の沈下量 (S60. 7～60. 7)	0.85	0.60	0.60	—	0.45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.52	—	1.77	1.75	1.16	0.63	0.79	
昭和62年度の沈下量 (S61. 7～62. 7)	0.65	0.33	0.46	—	0.39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.18	—	1.30	1.24	0.80	0.37	0.51	
昭和63年度の沈下量 (S62. 7～63. 7)	0.55	0.29	0.31	—	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.05	—	1.33	1.16	0.96	0.36	0.66	
平成元年度の沈下量 (S63. 7～H元. 7)	0.73	0.67	0.35	—	0.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.11	—	1.59	1.52	1.01	0.75	1.07	
平成2年度の沈下量 (H元. 7～2. 7)	改埋 再測量	0.22	0.31	—	0.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.83	—	1.27	1.04	0.68	0.40	0.45	
平成3年度の沈下量 (H2. 7～3. 7)	0.41	0.32	0.41	—	0.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.83	—	1.19	0.82	0.68	0.12	0.38	
平成4年度の沈下量 (H3. 7～4. 7)	0.48	0.51	0.15	—	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.60	—	0.94	0.88	0.83	0.47	0.54	
平成5年度の沈下量 (H4. 7～5. 7)	0.53	0.58	0.32	—	0.18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.79	—	1.10	0.89	0.78	0.41	0.49	
平成6年度の沈下量 (H5. 7～6. 7)	0.14	0.09	0.03	—	+0.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.21	—	0.74	0.50	0.48	0.00	0.17	
平成7年度の沈下量 (H6. 7～7. 7)	0.43	0.53	0.78	—	0.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.74	—	1.14	0.92	0.67	0.33	0.81	
計 [S49. 6 ～H7. 7 の沈下量]	35.34	19.65	18.48	[S49. 6 ～60. 7] 12.47	12.47	[S49. 6 ～60. 7] 8.55	[S49. 6 ～60. 7] 6.06	[S49. 6 ～60. 7] 5.00	[S49. 6 ～60. 7] 2.62	[S49. 6 ～60. 7] 2.51	[S49. 6 ～60. 7] 2.08	[S49. 6 ～60. 7] 2.30	[S49. 6 ～60. 7] 2.09	[S49. 6 ～53. 7] 1.87	[S53. 7 ～H6. 7] 35.74	[S54. 7 ～60. 7] 1.52	[S55. 7 ～H7. 7] 26.50	[S55. 7 ～H7. 7] 23.36	[S55. 7 ～H7. 7] 15.63	[S55. 7 ～H7. 7] 8.19	[S55. 7 ～H7. 7] 10.93	

注……①沈下量の()は1年間の沈下量に換算したもの (2) — は測量休止 (3)沈下量の+は隆起したもの ④029 119は平成2年度に水準点が改埋されたため累計の値としている。

資料34 鳥取県の優れた地形 地質

1 火山とその山地

項目	所在地	概要
1 扇ノ山火山	岩美郡国府町、八頭郡郡家町・若桜町・八東町	第四紀更新世の玄武岩質火山群
2 河合谷高原・ 広留野	岩美郡国府町・岩美町、八頭郡八東町	扇ノ山火山の溶岩流がつくる高原
3 一向平～ 大山滝～地獄谷	東伯郡東伯町	大山火山の古期噴出物を侵食する溪谷と大山滝
4 船上山屏風岩	東伯郡赤碕町	船上山を形成する古期大山溶岩流
5 笹ヶ平火砕流の つくる火砕流台地	日野郡江府町、東伯郡関金町	大山火山の新时期火砕流堆積物がつくる平坦面
6 大山	西伯郡大山町・中山町、東伯郡東伯町・赤碕町、日野郡江府町	西日本の代表的な火山
7 鏑抜山	西伯郡大山町	大山の側火山
8 豪円山	西伯郡大山町	大山の側火山
9 孝霊山	西伯郡大山町・淀江町	大山の側火山
10 大ズッコ	岩美郡国府町 他	火山碎屑丘
11 弥山	西伯郡大山町	大山の主峰
12 三鈷峰	西伯郡大山町	大山の中央部の山地
13 船上山	東伯郡赤碕町	溶岩台地
14 勝田ヶ山	東伯郡赤碕町	溶岩台地
15 矢筈ヶ山	東伯郡赤碕町	溶岩台地
16 鋳戸山	西伯郡大山町	大山の側火山
17 烏ヶ山	日野郡江府町	大山南方の火山

2 非火山山地

項目	所在地	概要
1 金峯山と無塵炭	岩美郡岩美町	新第三系の流紋岩質～石英安山岩質火砕岩からなる眺望のよい独立峰
2 駟馳山	岩美郡岩美町	海岸の孤立峰、新第三系の駟馳山砂岩泥岩層と鮮新世火山岩類
3 久松山	鳥取市	花崗岩と玄武岩からなる鳥取市のシンボリックな非火山山地
4 因幡三山	鳥取市、岩美郡国府町	因幡国国府を囲む歴史的な孤立峰、今木山・甕山・面影山
5 霊石山	鳥取市、八頭郡河原町・郡家町	鮮新世の玄武岩溶岩がつくる台地
6 那岐山	八頭郡智頭町	中生代白亜紀火山岩類の山地

項 目	所 在 地	概 要
7 三角山(頭巾山)	八頭郡用瀬町	花崗岩の三角状の急傾斜山地
8 波多ノ台 (黒岩高原)	八頭郡智頭町・ 用瀬町	準平原の高原
9 鷲峰山	鳥取市、 気高郡鹿野町	第三紀層で形成された孤立山地
10 三徳山	東伯郡三朝町	鮮新世三朝層群の火山岩類がつくる山地、風穴
11 打吹山	倉吉市	倉吉市のシンボルである白亜紀流紋岩からなる円錐状の孤立丘
12 若杉山	東伯郡三朝町	準平原遺物として山頂平坦面をもつ山地
13 米子城山	米子市	大型の高温石英を産する新第三紀の流紋岩でつくられた米子市のシンボリック孤立丘
14 粟島	米子市	もとは中海にあった孤立丘が近世に砂川とつながった
15 金華山	西伯郡西伯町・会見町、 日野郡溝口町	集塊岩質の孤立丘
16 三平山	日野郡江府町	古い火山タイプのドーム状孤立山地
17 鎌倉山	西伯郡西伯町	非火山性の好展望点
18 花見山	日野郡日南町	準平原遺物としての残丘
19 大倉山	日野郡日南町	準平原遺物としての残丘
20 稲積山	日野郡日南町	準平原遺物としての残丘
21 道後山	日野郡日南町	準平原遺物としての山頂平坦面をもつ山地
22 船通山	日野郡日南町	白亜紀流紋岩と花崗岩とからなる山地
23 吉岡断層	鳥取市	昭和18年の鳥取地震の時、再活動した断層
24 鹿野断層	気高郡鹿野町	昭和18年の鳥取地震の時、再活動した断層
25 岩坪断層	鳥取市	河合に沿った東西性の断層

3 河川 湖沼 (峡谷 滝 段丘)

項 目	所 在 地	概 要
1 唐川湿原	岩美郡岩美町	国の天然記念物に指定されたカキツバタ群落と湿原堆積物の泥炭層
2 雨滝	岩美郡国府町	扇ノ山東部の名瀑
3 大鹿滝	八頭郡若桜町	扇ノ山南部の滝
4 三滝	八頭郡智頭町	東山・沖ノ山西部の滝
5 千畳滝	八頭郡河原町	高山・高鉢山付近の比高の大きい滝
6 亀滝	八頭郡佐治村	佐治川に流下する滝
7 諸鹿峡谷	八頭郡若桜町	大鹿滝の下流の峡谷
8 春米峡谷	八頭郡若桜町	氷ノ山西方の峡谷

項 目	所 在 地	概 要
9 芦津溪谷	八頭郡智頭町	三滝に代表される溪谷美と河床のおう穴、花崗岩中の捕獲岩
10 多鯨ヶ池	鳥取市、岩美郡福部村	鳥取砂丘に隣接する、中国地方では面積に比して最も深い池
11 湖山池	鳥取市	日本一の池として有名な潟湖
12 青島	鳥取市	湖山池に浮かぶ離れ島
13 松上峡谷	鳥取市	河岸段丘を刻む野坂川の峡谷
14 岩坪のおう穴	鳥取市	河床に形成されたおう穴群
15 三滝溪	八頭郡河原町	千畳滝から杣小屋までの溪谷には滝が多い
16 猿渡溪谷	八頭郡佐治村	曲流する峡谷と佐治川石
17 安蔵川溪谷	八頭郡用瀬町	長戸呂橋付近の溪谷美がよい
18 鳴滝	気高郡青谷町	溶岩台地の急崖に懸かる滝
19 東郷池	東伯郡東郷町・羽合町	海岸砂丘にせき止められた海跡湖
20 三朝溪谷	東伯郡三朝町	三徳山の北に流れ、淵と瀬の地形が多い
21 小鹿溪谷	東伯郡三朝町	花崗岩に形成された淵、滝の多い溪谷
22 太郎田溪谷	東伯郡三朝町	花崗岩質の溪谷
23 天神野	倉吉市、東伯郡関金町	小鴨川流域に発達する段丘群
24 甲川溪谷	西伯郡中山町	峡谷美があり、多くの滝、瀬がある
25 地獄谷溪谷	東伯郡東伯町	溶岩・火砕流堆積物と大山滝、大休滝、鮎返りの滝などがある
26 俣野川上流溪谷	日野郡江府町	南大山の曲流する溪谷
27 大山滝	東伯郡東伯町	多段滝であり、名瀑である
28 千丈滝	東伯郡赤碕町	比高が100mの滝
29 鱒返しの滝	東伯郡赤碕町	多段滝
30 溝口南方の火砕流地形と段丘	日野郡溝口町	日野川にまたがる大山の火砕流と二段の河岸段丘
31 石霞溪と花崗岩山地	日野郡日南町	方状節理の発達した花崗岩の断崖と巨石・奇岩・淵をもつ溪谷
32 鶉の池と高原面	日野郡日野町	古い段丘と池

4 海岸・砂丘

項 目	所 在 地	概 要
1 羽尾岬	岩美郡岩美町	海食崖と海食洞
2 浦富海岸	岩美郡岩美町	海食崖と海食洞
3 鳥取砂丘	鳥取市、岩美郡福部村	海岸砂丘の典型、火山灰層によって二分された更新世の砂丘と完新世の砂丘

項 目	所 在 地	概 要
4 白兔海岸	鳥取市	因幡の白兔伝説で知られる砂浜海岸、波食棚
5 長尾鼻	気高郡青谷町・ 気高町	広い岩棚をもつ海食崖
6 泊海岸	東伯郡泊村	ポットホールと波食棚
7 北条砂丘	東伯郡北条町・ 羽合町・大柴町	県下で第二の規模をもつ海岸砂丘と縄文～江戸時代の長瀬高浜遺跡
8 名和町の礫浜	西伯郡名和町	大山系の古い堆積物が海で侵食された干潟
9 弓ヶ浜砂州	米子市、境港市	日本を代表する海岸砂州
10 彦名干拓地	米子市	泥質の浅瀬が人工でつくられ、水鳥の飛来地
11 内浜砂丘	境港市	古い砂丘があり、弓浜の古い人類居住地
12 鳥取県下に 分布する鳴り砂	県下の砂浜海岸	清浄な砂粒からなる砂浜海岸

5-1 地質 先新第三系

項 目	所 在 地	概 要
1 山志谷 周辺の志谷層	八頭郡八東町	三郡変成帯を構成する結晶片岩
2 不香田の八東層	八頭郡若桜町	県南東部にひろく分布する三郡変成岩
3 角谷周辺の角谷層	八頭郡若桜町	中生代三畳紀～ジュラ紀の堆積岩層
4 大江川 上流の片麻岩	日野郡溝口町	日本列島の基盤である飛騨帯の西方延長として新たに発見された片麻岩
5 智頭花崗岩	八頭郡智頭町	中生代白亜紀末期の大規模貫入岩体
6 県中部の 鳥取花崗岩	倉吉市、 東伯郡東郷町・ 三朝町・関金町	鳥取県の代表的な花崗岩

5-2 地質 新第三系

項 目	所 在 地	概 要
1 郡家礫岩層	岩美郡国府町	郡家町を模式地とし、鳥取県の代表的中新統である鳥取層群の基底礫岩層
2 河原火砕岩層	岩美郡国府町	河原町を模式地とする鳥取層群下部累層の主要部層
3 円通寺礫岩砂岩層	鳥取市	鳥取市円通寺を模式地とする鳥取層群中部累層の基底礫岩層
4 普含寺泥岩層	岩美郡国府町	国府町普含寺を模式地とし、化石を多産する鳥取層群中部累層の代表的地層
5 小田安山岩層	岩美郡岩美町	岩美町小田を模式地とする鳥取層群上部累層の一部層
6 荒金火砕岩層	岩美郡岩美町	岩美町荒金を模式地とする鳥取層群上部累層の一部層
7 淵見の石英閃緑岩	八頭郡若桜町	石材として利用された鳥取層群に貫入する中新世の深成岩類
8 鉢伏山安山岩	東伯郡東郷町	県中部の三朝層群の溶岩流と今滝

5-3 地質 第四系

項目	所在地	概要
1 大河内の大山 最下部火山灰層	倉吉市	大山最下部火山灰層の模式露頭
2 鴨ヶ丘周辺の大山上部・ 中部火山灰層	東伯郡関金町	大山上部・中部火山灰層の模式的分布地
3 荒田の大山 下部火山灰層	東伯郡関金町	大山下部火山灰層の模式的分布地
4 秋喜の 大山倉吉軽石層	倉吉市	大山火山灰層を代表する倉吉軽石の模式地
5 由良砂礫層	東伯郡東伯町・ 大栄町、倉吉市	大山北東麓の大扇状地とその構成層
6 駄経寺礫層	倉吉市	高位段丘とその構成層
7 旧奈和付近 の名和火砕流	西伯郡名和町	大山北麓に流下した火砕流
8 弥山火砕流	西伯郡大山町	大山火山の最新期火砕流の一つ
9 鶴田玄武岩と 火山灰	日野郡溝口町、 西伯郡会見町	花崗岩地帯に噴出した玄武岩岩体と大山西方に分布する大山松江軽石
10 泉の火山灰層	米子市	大山北西麓に分布する大山火山灰層と三瓶山起源の木次軽石

6 化石

項目	所在地	概要
1 “三郡変成帯”の魚 化石とユノドント	八頭郡船岡町	いわゆる三郡変成帯から発見された中生代三畳紀の化石
2 上地における普含 寺泥岩層と化石	岩美郡国府町	鳥取層群普含寺泥岩層の海成動物化石
3 春米の中新世 化石と地層	八頭郡若桜町	鳥取層群諸鹿礫岩層の貝化石群集
4 辰巳峠層と 植物化石	八頭郡佐治村	西日本における中新世後期を代表する化石植物群
5 宝木亜炭層と 昆虫化石	気高郡気高町	白兔層中の泥炭層とネクイハムシ亜科を主とする昆虫化石
6 多里層の化石	日野郡日南町	中新世初期の貝化石群集と大型石灰質団塊
7 下花口層の化石	日野郡日南町	氷河時代の寒冷気候をしめす針葉樹化石とそれを含む泥炭層

7 岩石 鉱物 鉱床

項目	所在地	概要
1 山口の “やしろみかげ”	八頭郡用瀬町	節理の少ない良質の石材で、県内最古期の花崗岩の一つである用瀬花崗岩
2 佐治川石	八頭郡佐治村	三郡変成帯の緑色岩で、岩石表面が凹凸富み山水風景を想わせる鑑賞石
3 南田石	岩美郡福部村	荒金火砕岩の緑色凝灰岩で、栃木県の大谷石と同様な加工しやすく火に強い石材
4 諸鹿石	八頭郡若桜町	瀬見石英閃緑岩の接触変成を受けて普含寺泥岩層が堅く緻密になったもので硯の原石
5 人形峠鉱山	東伯郡三朝町	堆積型ウラン鉱床、現在は精錬がおこなわれている日本最大のウラン鉱山
6 山砂鉄鉱床	日野郡溝口町・ 日南町	風化した花崗岩類から採掘される真砂鉄鉱床で「たたら」の原料

8 温泉・湧水

項 目	所 在 地	概 要
1 布勢の清水	気高郡気高町	1985年「因伯の名水」に指定された湧水
2 天の真名井	西伯郡淀江町	1985年「名水百選」に指定された湧水
3 本宮の泉	西伯郡淀江町	1985年「因伯の名水」に指定された湧水
4 吉岡温泉	鳥取市	国民保養温泉地に指定された単純透明泉
5 東郷・羽合温泉	東伯郡東郷町・ 羽合町	東郷池の湖中および周辺に湧出する温泉
6 三朝温泉	東伯郡三朝町	日本の高温温泉で最大のラドンを含有する自噴泉
7 皆生温泉	米子市	山陰地方最大の湧泉量を有する温泉

資料35 鳥取県の優れた植物

1 社 叢

項 目	所 在 地	概 要
1 甘露神社社叢	岩美町陸上	スダジイ林、サンインカンアオイ
2 熊野神社社叢	岩美町浦富	タブノキースタジイ林
3 坂谷神社社叢	福部村栗谷	スダジイ林、ホソバニセジュズネノキ
4 南田神社社叢	福部村南田	スダジイ林、サンインカンアオイ
5 多鯨ヶ池弁財天社叢	福部村湯山	スダジイ林、クロキ、ヤブツバキ
6 高岡神社社叢	国府町高岡	ヤブツバキ林
7 宇倍神社社叢	国府町宮ノ下	シフカシ林
8 檜谿神社社叢	鳥取市上町	スダジイ林、モミ林
9 椎谷神社社叢	鳥取市覚寺	スダジイ林、アリドオシ
10 伏野神社社叢	鳥取市伏野	スダジイ、タブノキ
11 白兔神社樹叢	鳥取市内海	スダジイ林
12 松上神社のサカキ樹林	鳥取市松上	サカキ林、ウフジロガシ林
13 大野見宿禰命神社社叢	鳥取市徳尾	スダジイーモチノキ林
14 御熊神社社叢	鳥取市御熊	スダジイ、シフカシ、カゴノキ
15 矢矯神社社叢	鳥取市矢矯	スダジイ林
16 河内神社社叢	鳥取市河内	スダジイ林、カゴノキ、サツマイナモリ
17 意上奴神社社叢	鳥取市香取	スダジイ林、ウフジロガシ林
18 倉田八幡宮社叢	鳥取市馬場	タブノキ林
19 権現の森	河原町北村	アサダ林、ウラジロガシ林、ブナ
20 犬山神社社叢	用瀬町宮原	イヌブナ林、ツクバネガシ
21 金山神社社叢	佐治村余戸	ウラジロガシーアカガシ群落
22 蛭井神社社叢	智頭町大呂	ウラジロガシ林、ブナ
23 諏訪神社社叢	智頭町智頭	ウラジロガシ林、ケヤキ
24 相屋神社社叢	青谷町青谷	スダジイ林
25 鷲峰神社社叢	鹿野町鷲峰	スダジイ林
26 波波伎神社社叢	倉吉市福庭	スダジイ、タブノキ
27 桜神社社叢	倉吉市桜	ヒメユズリハ林
28 花倉山笏賀神社社叢	三朝町笏賀	ヒノキーホンシャクナゲ群落
29 俵藤太の森	三朝町俵原	コナフーブナ林
30 今泉神社社叢	三朝町今泉	タブースダジイ林、サツマイナモリ、ムサシアブミ
31 松崎神社社叢	東郷町松崎	スダジイ林
32 逢坂八幡神社社叢	中山町松河原	スダジイ林、アリドウシ
33 中山神社社叢	中山町東積	ケヤキータブノキ林
34 日吉神社社叢	淀江町西原	タブノキ林
35 大神山神社奥宮のスギ林	大山町大山寺	スギ林、ブナ
36 長田神社社叢	西伯町馬場	スダジイーウラジロガシ林
37 金華山熊野神社社叢	西伯町八金	ウラジロガシ、クロバイ、ケヤキ、ヤマイバラ

項 目	所 在 地	概 要
38 住吉神社社叢	西伯町大木山	ウラジログシ林
39 和田御崎神社社叢	米子市大篠津	タブノキ林
40 粟島神社社叢	米子市彦名	シャシャンボ
41 楽楽福神社社叢	溝口町宮原	シラカシ林、タブノキ
42 熊野神社社叢	江府町俣野	ウラジログシ林
43 根雨神社社叢	日野町根雨	シラカシ林、アオネカズフ
44 聖神社社叢	日野町黒坂	シラカシ林、モミ、ツガ
45 滝山公園の岩角地アカマツ林	日野町中菅	アカマツ林、ゲンカイツツジ
46 楽楽福神社社叢	日南町印賀	モミーミズナラ林
47 日谷神社社叢	日南町共栄	コナラ林、モミ
48 下阿毘縁神社社叢	日南町下阿毘縁	ウラジログシモミ林

2 一般樹林

項 目	所 在 地	概 要
1 小羽尾のヒメユズリハ林	岩美町小羽尾	スダジイ、タブノキ、ヒメユズリハ
2 浦富海岸の海食崖クロマツ林	岩美町	
3 天神池周辺のブナ林	岩美町	ブナ林、イワカガミ(白花)
4 雨滝周辺の溪谷林・ブナ林	国府町雨滝	サワグルミートチノキ林、アサダ、ホンジャクナゲ
5 扇ノ山のブナ林	国府町	
6 久松山の城跡自然林	鳥取市東町	スダジイ林、アラカシ林
7 合ヶ谷スリハチのクロマツ林	鳥取市浜坂	ハイネス、ウメカサソウ
8 三滝溪の溪谷林	河原町	サワグルミ、トチノキ、ヒノキ、ホンジャクナゲ
9 洗足山の自然林	用瀬町	ヒメコマツ、ホンジャクナゲ、ヒノキ
10 高鉢山・北谷の自然林	佐治村	ブナ林
11 三王滝周辺の自然林	佐治村	ウラジログシ、オオバクロモジ、ホンジャクナゲ
12 氷ノ山のブナ林	若桜町	
13 大鹿滝周辺の溪谷林	若桜町	サワグルミートチノキ林、ブナ林、オニシモツケ
14 三室山のブナースギ林	若桜町	
15 鳴滝山のブナースギ林	智頭町	
16 芦津溪の溪谷林	智頭町	トチノキ、ミズナラ
17 飯盛山のブナ林	青谷町	
18 船磯のスダジイ林	気高町船磯	スダジイ林、コバノチョウセンエノキ
19 鷲峰山のブナ林	鹿野町	ブナ林、カタクリ、ミスミソウ
20 打吹山の城跡自然林	倉吉市仲ノ町	スダジイ林、シラカシ、アサダ、オガタマノキ
21 四王寺山北面のウラジログシ林	倉吉市北面	ウラジログシ林、フウトウカズフ
22 羽衣石城跡のムクノキ林	東郷町羽衣石	ムクノキ林、アリドオン
23 三徳山の自然林	三朝町	照葉-落葉連続樹林
24 小鹿溪の溪谷林	三朝町	トチノキ、カツラ、ヤマグルマ、ブナ

項 目	所 在 地	概 要
25 船上山の自然林	赤碕町	アカマツ林、ブナ林
26 地獄谷の溪谷林	東伯町	サワグルミートチノキ林、ミズメ林
27 米子城跡の自然林	米子市久米町	タブーモチノキ林、カゴノキ林、スダジイ林
28 勝田ヶ山のヒメコマツ群落	中山町	
29 甲川の移行群落林	中山町	ウラジログシニアカガシ林、ミスミソウ
30 大山中腹の自然林	大山町	ブナ林
31 豪円山のミズナラーモミ林	大山町大山寺	
32 赤松池周辺のアカマツ林	大山町赤松	アカマツ林(植林)
33 日野川の崖地アラカシ群落	溝口町、江府町	ツクバネガシ
34 生山のアカマツ自然林	日南町生山	
35 石霞溪の溪谷崖地林	日南町生山	アツカシ、ウラジログシ
36 船通山の自然林	日南町	ブナ林、イチイ

3 低木林 草原

項 目	所 在 地	概 要
1 鳥取砂丘植生	鳥取市、福部村	コウボウムギ、ハマグルマ、ケカモノハシ
2 八本越のススキ草原	佐治村	
3 那岐山の低木林・草原	智頭町	サフサドウダン、ニシキウツギ
4 田代高原の風衝草原	三朝町田代	ヒゲノガリヤス
5 高丸山のベニドウダン群落	三朝町田代	ヒノキ
6 若杉山のススキ草原	三朝町	
7 烏ヶ山ミヤマハンノキ群落	東伯町	遺存群落
8 甲ヶ山～矢筈ヶ山の低木林	赤碕町、中山町	クロソヨゴウフジロハナノキ
9 大山山頂周辺の自然草原	大山町	ヒゲノガリヤス、クガイソウ、オオバギボウシ
10 大山のダイセンキャフボク純林	大山町	キャフボク
11 弓浜海岸の砂丘植生	米子市和田町	コウボウムギ
12 日野川のキシツツジ群落	日野町	岸本町～石霞溪
13 道後山山頂周辺の低木林・草原	日南町	イチイ、シフタマノキ

4 湿 原

項 目	所 在 地	概 要
1 唐川湿原	岩美町唐川	カキツバタ、サワギキウ
2 菅野湿原	国府町菅野	マアザミ
3 古生沼湿原植生	若桜町、兵庫県	
4 蛇ヶ岨湿原	関金町、岡山県	
5 犬狭峠湿原	関金町、岡山県	

項 目	所 在 地	概 要
6 俵原のミツガシワ湿原	三朝町俵原	
7 中津北尾根のミツガシワ湿原	三朝町中津	ミツガシワ純群落
8 大沢池のハンノキ林	大山町種原	ハンノキ林、ヒツジグサ、タヌキモ
9 鏡ヶ成湿原	江府町	ノハナショウブ、バイケイソウ
10 神戸ノ上のハンノキ林	日南町神戸ノ上	ハンノキ林、ジャヤナギ、クサレダマ

5 特殊群落

項 目	所 在 地	概 要
1 氷ノ山古敷岩の高山植物群落	若桜町春米	コケモモ、コメバツガザクフ、ツガザクラ
2 布勢平神社のバイカモ水生群落	気高町殿	県名水、スダジイ林
3 田内城山のアオネカズラ群生地	倉吉市田内	
4 竹田谷の貴重植物群生地	三朝町	バイケイソウ
5 福山の滝のオサンダ群生地	三朝町福本	
6 湯谷川の貴重植物群落	三朝町湯谷	リンボク、ホソパーセジュズネノキ
7 橋津海岸の貴重植物群生地	羽合町橋津	
8 籠津～御崎海岸のハマヒサカキ群落	赤碕町、中山町	分布北限地
9 ハマナス自生南限地帯	中山町松河原	分布南西限地
10 本宮の泉のバイカモ水生群落	淀江町本宮	県名水
11 天の真名井のバイカモ水生群落	淀江町高田	国名水
12 大山山頂部の高山植物群落	大山町	ツガザクラ、コメバツガザクフ、シラタマノキ
13 三平山麓の貴重植物群生地	江府町俣野	ミヤコアサミ

国指定天然記念物一覧

名 称	指定年月日	所 在 地
ハマナス自生南限地帯	T11.3.8	鳥取市白兎字白浜
倉田八幡宮社叢	S9.5.1	鳥取市馬場299
大野見宿禰命神社社叢	S9.8.9	鳥取市徳尾字丸山80
白兎神社樹叢	S12.12.8	鳥取市白兎
松上神社のサカキ樹林	S19.3.7	鳥取市松上字宮ノ谷990
鳥取砂丘	S30.2.3	鳥取市浜坂、福部村湯山
唐川のカキツバタ群落	S19.3.7	唐川字大沢山 岩美町 外邑字大沢
波波伎神社社叢	S9.5.1	倉吉市福庭字槇ノ木653
伯耆の大シイ	S12.4.17	東伯町宮場字宮内屋敷
大山のダイセンキャラボク純林	S27.3.29	大山町大山 大山山頂付近
ハマナス自生南限地帯	S58.7.2	中山町松河原字小鯰、松河原字河原田
船通山のイチイ	S37.7.27	日南町上萩山(船通山)

県指定天然記念物一覧

名 称	指定年月日	所 在 地
矢矯神社社叢	S31.3.6	鳥取市矢矯531番地1
意上奴神社社叢	S59.2.21	鳥取市 香取字意上谷南側奥440 香取字意上森前369
桂見の「二十世紀」ナシ親木	S60.2.22	鳥取市桂見字石ケ谷403-3
高岡神社社叢	S34.6.5	国府町高岡字堂原
菅野ミズゴケ湿原	S42.12.12	国府町菅野字向山84
坂谷神社社叢	S58.9.27	福部村栗谷字坂谷奥389,533
坂谷神社社叢 (追加指定)	S63.12.23	福部村栗谷字坂谷奥532 のうち実測3,326.61m ²
弓河内の大シダレザクラ	S30.9.6	河原町弓河内252
清徳寺の巨樹名木群	S31.3.6	八東町清徳字段79
落河内の大キリシマ	S32.2.6	河原町北村字桜谷604
長瀬の大シダレザクラ	S34.6.5	河原町長瀬字中土居306
落折のイチイ	S40.9.28	若桜町落折字家廻り35
福本のオハツキイチョウ	S45.2.20	郡家町福本字上土居208
西御門の大イチョウ	S45.2.20	郡家町西御門字山手屋敷105
落河内のカツラ	S48.3.30	河原町北村字倉房588
中江の一本スギ	S48.3.30	若桜町中原1337の1
豊乗寺のスギ	S48.3.30	智頭町新見
田岡神社のツハキ樹林	S48.3.30	佐治村津無字南ケイチ

名 称	指定年月日	所 在 地
若 桜 神 社 社 叢	S57.4.9	若桜町若桜字宮ノ木
犬 山 神 社 社 叢	S60.2.22	用瀬町宮原字宮ノ谷288-1
垂 井 神 社 社 叢	S61.12.2	智頭町大呂字ハセコウ966-1,967
相 屋 神 社 社 叢	S58.9.27	青谷町青谷字大平5786,5787
大 日 寺 の 大 イ チ ョ ウ	S31.3.6	倉吉市桜字円地坊137
坂 谷 神 社 社 叢	S58.9.27	福部村栗谷字坂谷奥389,533
転 法 輪 寺 の 大 イ チ ョ ウ	S31.5.30	東伯町別宮字中屋敷472
東 伯 町 の 大 イ ヌ グ ス	S31.5.30	東伯町別宮字とふ田588の1
古 布 庄 の 大 ス ギ	S32.12.25	東伯町中津原
花倉山のヒノキ・ ホンシャクナゲ群落	S39.3.3	笏賀19番 三朝町 花倉谷468,469
関 金 の シ イ	S48.3.30	関金町安歩524
福 本 の ツ バ キ	S48.3.30	三朝町福本字六良治122の2
籠 津 の ハ マ ヒ サ カ キ 群 落	S48.3.30	赤碕町籠津字城の内字下の野
マテバシイの北限地帯 (智光寺の樹叢)	H元.4.18	赤碕町赤碕字西中条1,320-1
粟 島 神 社 社 叢	S57.4.9	米子市彦名町字粟島山
渡 町 西 東 の ゴ ヨ ウ マ ツ	S45.2.20	境港市渡町362
佐 伯 氏 の ク ロ ガ ネ モ チ	S36.2.3	西伯町福成1197
長 田 神 社 社 叢	S36.2.3	西伯町馬場字宮ノ前
金 華 山 熊 野 神 社 社 叢	S57.4.9	西伯町八金字金華山1229~1232
長 寿 寺 ・ 落 合 神 社 の 樹 叢	S60.6.25	西伯町落合字檜塔
下 阿 毘 縁 神 社 の 大 シ ダ レ ザ ク ラ	S32.12.25	日南町下阿毘縁
解 脱 寺 の モ ミ 並 木	S34.6.5	日南町下阿毘縁611
上 石 見 の オ ハ ツ キ ・ タイコイチョウ	S45.2.20	日南町上石見819
武 庫 の 七 色 ガ シ	S48.3.30	江府町武庫1915
下 蚊 屋 明 神 の サ ク フ	S48.3.30	江府町下蚊屋738ノ4
熊 野 神 社 社 叢	S48.3.30	江府町俣野470,471
聖 神 社 社 叢	S57.4.9	日野町黒坂字宮山1794~1796
根 雨 神 社 社 叢	S59.2.21	日野町根雨487-1,487-2,697,698
楽 楽 福 神 社 社 叢	S60.2.22	日南町印賀 字宮ノ下モ1492-1,1494-1 字宮山1693-1,1693-2,1695
洲 河 崎 の カ ツ フ	H元.4.18	江府町洲河崎字後山1149

資料36 鳥取県内に生息している「我が国における保護上重要な動物種」

絶滅危惧種（絶滅の危機に瀕している種または亜種）

類 別	種 名	生 息 状 況
鳥 類	コ ウ ノ ト リ	鳥取市千代川や米子市彦名干拓地などにときおり飛来する程度。
	イ ヌ ワ シ	県東部の陣鉢山～扇ノ山、佐治村高鉢山周辺で繁殖。個体数は非常に少ない。
	オ ジ ロ ワ シ	彦名干拓地、湖山池、水尻池、千代川などに冬鳥として少数個体が訪れる。
	ク マ タ カ	県下一帯の自然度の高い山域で繁殖が確認されている。個体数は少ない。
	ヤ イ ロ チ ョ ウ	夏鳥として大山町明間、三徳山、若桜町諸鹿などで記録される。繁殖は未確認。
昆 虫 類	オオウフギンヒョウモン	大山周辺で記録されていたが、現在ではほとんど絶滅状態。

危急種（絶滅の危険が増大している種または亜種）

類 別	種 名	生 息 状 況
鳥 類	カンムリカイツブリ	冬鳥として県下の湖沼や河口に飛来。個体数は多い。
	ツ ク シ ガ モ	冬鳥として彦名干拓地に毎シーズン10数羽が飛来、越冬する。
	ミ サ ゴ	留鳥。各地の河口、湖沼に飛来し周辺の低山地で繁殖するが個体数は少ない。
	オ オ ワ シ	稀な冬鳥として日野川、彦名干拓地、賀露海岸で記録されている。
	オ オ タ カ	留鳥。低山地の森林で繁殖している。
	チ ュ ウ ヒ	稀な冬鳥として湖山池、千代川、彦名干拓地で記録されている。
	ハ ヤ ブ サ	留鳥。海岸の崖地などで繁殖。個体数は少ない。
	ヘ ラ シ ギ	旅鳥として鳥取砂丘、千代川河口、天神川河口などに稀に飛来。
淡 水 魚 類	ゴ ギ	西伯町上中谷の赤谷と日南町印賀川下阿毘縁周辺で生息が確認されている。
昆 虫 類	ギ フ チ ョ ウ	各地の丘陵や山地に生息。個体数も比較的多い。
	ヒ ョ ウ モ ン モ ド キ	大山から氷ノ山にかけての山地草原に局地的にみられたが、生息地が牧草地化等でほとんど消失。絶滅が心配されている。
	タ ガ メ	平野部から山間にかけての止水、静水域に生息。生息状況は比較的良好。

希少種（存続基盤が脆弱な種または亜種）

類 別	種 名	生 息 状 況
哺 乳 類	ホ ン ド モ モ ン ガ	広島・岡山との県境沿い山地に生息。
	ヤ マ ネ	大山、氷ノ山～扇ノ山山系に生息。
鳥 類	チ ュ ウ サ ギ	夏鳥として飛来。米子市愛宕町山地や倉吉市向山で繁殖する。
	ミ ゾ ゴ イ	夏鳥。大山～船上山にかけての山中で繁殖するが個体数は少ない。
	ヘ ラ サ ギ	全国的には稀な冬鳥だが、彦名干拓地では1982年からほぼ毎シーズン越冬。
	ク ロ ッ ラ ヘ ラ サ ギ	全国的には稀な冬鳥だが、彦名干拓地では1984年からほぼ毎シーズン越冬。
	マ ガ ン	冬鳥として彦名干拓地ほかで越冬。彦名干拓地での越冬個体数は多い。
	ヒ シ ク イ	冬鳥として彦名干拓地や水尻池周辺で観察される。個体数は少ない。
	コ ハ ク チ ョ ウ	冬鳥。彦名干拓地や天神川・千代川下流域などで観察される。個体数も多い。
	ア カ ッ ク シ ガ モ	冬鳥として境港市と彦名干拓地にごく少数が飛来。
	オ シ ド リ	平野部では冬鳥だが、自然度の高い山地では留鳥として繁殖が見られる。
	ト モ エ ガ モ	冬鳥として多鯉ヶ池に飛来。個体数は少ない。
	シ ノ リ ガ モ	冬鳥。鳥取市賀露海岸や淀江・大山町の海岸沖に飛来。
	ハ イ タ カ	大山以東の山地で繁殖。冬鳥として彦名干拓地などにも飛来。
	オ オ ジ シ ギ	旅鳥として大山周辺や扇ノ山などで見られる。
	セ イ タ カ シ ギ	旅鳥として夏期に彦名干拓地や湖山池周辺を訪れる。個体数は非常に少ない。
	コ ア ジ サ シ	夏鳥。日野川・天神川・千代川などの河口付近で集団で営巣する。
ブ ッ ポ ウ ソ ウ	スギ林の多い山地の森林に夏鳥として飛来、繁殖する。個体数は少ない。	
コ ジ ュ リ ン	大山で繁殖が確認されている。	
両生類・爬虫類	タ イ マ イ	日本海沿岸沖に生息。
	ア カ ウ ミ ガ メ	日本海沿岸沖に生息。前種より確認例は多い。
	オオサンショウウオ	天神川、日野川の両水系に主要な生息域がある。
昆虫類 クモ類	ラビロ ン ウ	千代川河口の十六本松で生息が確認されているが、生息地は危険な状態にある。

類 別	種 名	生 息 状 況
昆虫類・クモ類	コガタノゲンゴロウ	泊村石脇川水系で近年の生息が確認されている。
	オオチャイロハナムグ)	扇ノ山と大山で生息が確認されているが、近年個体数の減少が著しい。
	キマダラルリツ メ	生息地は散在するが、各地の平野部丘陵地に比較的多い。
	ク ロ シ ヅ ミ	県東部の山地や大山周辺などの開けた高原の疎林林縁に生息する。
	ゴ マ シ ヅ ミ	県下各地の山地草原に生息するが、道路工事等により激減している。
	オ オ ム フ サ キ	県内では各地の低山地からブナ帯まで生息地・個体数とも比較的多い。
	キシノウエトタテグモ	鳥取市久松山に生息するが個体数は非常に少ない。
	キノボリトタテグモ	県東部と中部の数カ所の神社林などで生息が確認されている。

地域個体群(保護に留意すべき地域個体群—地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの)

類 別	種 名	生 息 状 況
哺 乳 類	東中国山地(氷ノ山)のツキノワグマ個体群	氷ノ山周辺および沖ノ山～東山周辺に生息するツキノワグマがこれに含まれる。本種の生息はこれら県東部の自然度の高い山地に限られる。

鳥類については、迷鳥または冬鳥として非常に稀に記録されるだけの種は、この表から省略した。

資料37 温泉地別利用状況

平成9年3月現在

温泉地名	源泉数 (A+B)	利用源泉数 (A)		未利用 源泉数 (B)	温 度 別 利 用 源 泉 数			平均 温度 ℃	ゆ う 出 量 合 計 ℓ / 分	主たる泉質
		自噴	動力		25℃ 未満	25℃以上 42℃未満	42℃ 以上			
※ 岩井温泉	9	1	3	5	—	1	3	47.1	1,000.4	カルシウム・ナ トリウム—硫酸 塩泉
鳥取温泉	30	—	19	11	—	4	15	45.6	994.5	ナトリウム—塩 化物・硫酸塩泉
※ 吉岡温泉	9	—	4	5	—	1	3	52.7	891.0	単純温泉
浜村温泉	25	—	20	5	0	7	13	53.4	926.7	ナトリウム・カ ルシウム—塩化 物・硫酸塩泉
※ 鹿野温泉	10	—	7	3	—	—	7	60.1	950.7	単純温泉
羽合温泉	11	—	7	4	—	1	6	55.5	1,941.9	ナトリウム・カ ルシウム—塩化 物・硫酸塩泉
東郷温泉	51	—	20	31	—	3	17	72.7	1,029.6	〃
三朝温泉	94	30	43	21	—	21	52	52.0	1,993.1	単純放射能温泉
※ 関金温泉	24	1	16	7	1	9	7	42.1	392.2	〃
皆生温泉	23	—	19	4	—	2	17	65.9	4,616.2	ナトリウム・カ ルシウム—塩化 物泉
そ の 他	27	4	12	11	2	14	—	30.8	2,609.9	
計	313	36	170	107	3	63	140	53.8	17,346.2	

(注) (1) 平均温度は、温泉地の全ゆう出熱量を、全ゆう出量で割ったものである。

(2) 温泉地名欄※印は国民保養温泉地指定温泉地を示す。

資料38 温泉資源保全調査状況

温泉地名	調査状況	調査年度	調査内容	調査費 (千円)
皆	生	昭和52年度～54年度	調査 試験井掘削(3井)	35,700
三	朝	昭和55年度～56年度	調査 試験井掘削(5井)	37,351
東郷	羽合	昭和56年度～58年度	調査 試験井掘削(6井)	70,480
浜	村	昭和58年度～60年度	調査 試験井掘削(5井)	36,298
関	金	昭和60年度～62年度	調査 試験井掘削(4井)	48,268
鹿	野	昭和62年度～平成元年度	調査 試験井掘削(4井)	48,414
岩	井	平成元年度～3年度	調査 試験井掘削(3井)	43,976
吉	岡	平成3年度～5年度	調査 試験井掘削(4井)	59,210
鳥	取	平成5年度～7年度	調査 試験井掘削(3井)	68,084